

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年2月14日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年1月26日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	デンマーク
留学先大学	コペンハーゲン大学 (日本語名) Københavns Universitet (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	デンマーク語・英語 / 英語
留学期間	2023年8月～2024年1月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 人文学部 現地言語での名称: Faculty of Humanities  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月上旬～1 月上旬 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	約 37,000
創立年	1479 年

## 留学費用

留学費用項目	現地通貨 (DKK)	日本円	備考
授業料	0	0円	協定留学
宿舍費	400,000	800,000円	+デポジット 8000DKK
食費		400,000円	
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費		10,000円	
現地交通費	1956	39,120円	夏・秋→レンタル自転車 月 189DKK 冬→メトロ 寮から学校まで片道 19DKK ( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		600,000円	旅行(9カ国),美術館巡り等
被服費		20,000円	
医療費		0円	
保険費		71,105円	形態:明大サポートの海外旅行保険
渡航旅費		270,000円	
ビザ申請費		50,000円	DKK2115+送料・手数料
雑費		40,000円	
その他		円	
その他		円	
合計		2,300,225円	

## 渡航関連

### 渡航経路

往路 出発地:羽田空港 目的地:コペンハーゲン空港 経由地:ドーハ空港

復路 出発地:コペンハーゲン空港 目的地:羽田空港 経由地:ドーハ空港

### 渡航費用

① 往復チケットを購入した場合  
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合  
往路 航空会社:カタール航空 料金:170,000

復路 航空会社:カタール航空 料金:100,000 ∴合計:270,000

### 航空券購入方法

旅行代理店(店名: )

インターネット(サイト名:カタール航空)

その他( )

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

学生寮(寮の名前:Signalhuset Kollegiet)  アパート  ホームステイ

2) 部屋の形態

個室  相部屋(同居人数 )

3) 共有部分

バス  トイレ  キッチン( 自炊可  自炊不可)

4) 住居を探した方法:

Housing Foundation

先着順のため <https://housingfoundation.dk> であらかじめ第三希望くらいまで決めておくほうが良い。一学期間のみの方は滞在できる寮が限られているため注意。

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

おすすめポイント

① 個人部屋がある

自分の部屋があるのでプライベートを確保しつつ共有スペースで他の留学生との交流も可能。

② ショッピングセンターが目の前

Fields というショッピングセンターがあり必要なものがほとんど揃えられる。到着してすぐに寝具を調達できて便利だった。

③ 人気の Ørestad に住める

中心市とは異なり自然と近代的な建物が融合している。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

メトロ駅内でリュックサックを開けられることがあった。幸い友人がすぐに気づき盗まれたものは無かったが、以降は常に前に持つようにしていた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

問題なし。大学・大学関係施設では共通のフリーWi-Fiが使用可能。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを使用。現地の銀行口座は開設していない。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

①化粧水類 ②髪のダメージケア(硬水のため痛みやすい)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

なし



## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
20 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 20 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
DCC Danish Architecture and Urban Design	デンマークの建築と都市デザイン
科目設置学部・研究科	Humanities(人文学部)
履修期間	2023 年秋学期
単位数	15ECTS
本学での単位認定状況	10 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Lars Gemzøe
授業内容	デンマークの建築・デザインの歴史とそれらがどのように人間の生活に影響を及ぼしているのか。
試験・課題等	中間課題: 最終課題の概要 最終課題: レポート(11~15 ページ)
感想を自由記入	ディスカッションの機会が多く、様々な国の留学生から様々な国の建築・都市デザインにも触れることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
DCC Danish Design	デンマークデザイン
科目設置学部・研究科	Humanities(人文学部)
履修期間	2023 年秋学期
単位数	15ECTS
本学での単位認定状況	10 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Courtney D
授業内容	デンマークの著名な椅子・照明器具などのデザイナーとそのデザインの意図について。
試験・課題等	中間課題: 最終課題の概要 最終課題: レポート(11~15 ページ)
感想を自由記入	美しいだけでなく機能的なデザインの数々を楽しむことができた。日本のデザインも授業で度々登場することがあり高く評価されていることを知った。



## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職    進学    未定    その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

マイナビ、CFN

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

インテリア・空間デザイン業界

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学前→夏インターン(オンライン)に応募。就職キャリアセンターに5回ほど通いES添削をしていただきました。渡航前に証明写真を撮っておきました。

留学中(夏)→夏インターンに2社参加し、早期選考に参加できることに。

留学中(秋)→早期選考に参加し、面接やグループディスカッションの経験を積む。ESのブラッシュアップとSP1の勉強を始める

留学中(冬)→初めて内々定をいただく。

時差の関係で早朝から会社説明会や面接になることは大変でした。しかし、デンマークの話をしている時は特に自然な笑顔で話すことができ、また海外まで学びに行く行動力が評価していただけたのではないかと思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	12月 面接試験
留学開始年	1月～3月	1月 インターンシップ応募
	4月～7月	5月 履修登録 6月 VISA 申請
	8月～9月	8月 渡航 プレセメスター 9月秋学期授業開始
	10月～12月	10月 中間課題
留学/帰国年	1月～3月	1月 帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	





## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

留学の目的は、デンマークの教育システムと心地の良い空間づくりを学ぶことを通して子どもたちが家庭・学校以外にも安心して「第3の居場所」づくりを考えることでした。コロナウイルスの流行によって、日本の不登校生徒の増加に拍車がかかっていることを知り、日本社会において「こども第3の居場所」づくりは急務であると考えました。そこで“Hygge”という人と居心地の良い楽しい時間を共有することを大切にする文化があるデンマークに留学し、居心地の良い交流の場をつくるヒントが得られると考えました。

交換留学先大学では「デンマークの建築・都市デザイン」「デンマークデザイン」の授業を履修しました。「デンマークの建築・都市デザイン」の講義ではデンマークの街の至る所に人々の交流を促進するための「仕掛け」がされていることを知ることができました。最終レポートでは円形の建物に着目し、その形が人々の行動や視野に作用し社会的になることを促進していることがわかりました。「デンマークデザイン」はシンプルで美しいだけでなく機能的であると世界で評価されています。そこで、デザインから福祉国家が形成された歴史、日常生活を豊かにする方法、現代の社会問題の解決法をディスカッション形式で学びました。授業内で日本のデザインが紹介されることも多数あり評価の高さを知りました。

留学中ヨーロッパ各地からの様々な留学生と交流することができました。お休みの日は一緒にサイクリングをしたり、ハイキングに出かけたり、美術館を巡ったり、ディナーを作ったりとアクティブに生活できました。初めは英語力に自信がなくなつた笑って聞いていた時もありましたが、話に入れなくて話振ってくれたり、単語が出てこない時は助けてくれたりと安心して話せる環境をつくってくれたため英語力を伸ばすことができました。留学前は「ヨーロッパの人は閉鎖的で冷たい」と聞いていて不安でしたが、全くそういうことはないことがわかりました。偏見や噂で判断するのではなく自分自身で体験することが大切だとわかりました。

課外活動では NGO でインターンシップを行いました。当 NGO は若者のエンパワーメントを行っており、フォルケホイスクのメゾットをベースとした「Dialogue」(対話)を中心としたイベント運営を行っています。「Dialogue Dinner」は若者を対象にした共に料理を作り、共に食事を楽しみ、共に心理学に基づいたトピックについて話すイベントです。運営に携わりながら、参加者と蝋燭を灯した温かみのある空間で会話を楽しみ新たな価値観に触れて視野を広げることができました。「School Workshop」では学校を訪問し、民主主義・ネットリテラシー・SDGs といったトピックについてゲームやディスカッションを主とした授業を行いました。日本人代表として日本のことについて話す機会が多く、自分自身もより日本のことを知ることができました。

今後のキャリアについて、インテリアデザイナーという新たな夢を持つことができました。それは、こどもだけでなくより多くの人に“Hygge”な空間を提供したいと考えたからです。1日の多くの時間を過ごすオフィス・学校のデザインを変えることで日本の幸福度の向上に貢献したいと考えています。

これから留学を考えている方へ。どんなことを学びたいかという軸をしっかりと持って、勉強以外の時間はデンマークや他のヨーロッパの国を、また様々な国の人々との交流を楽しんでください。